

Why not インド舞踊？

南インド伝統舞踊 “バタネティヤム”

10/15 火 19:00～20:45

● 概要

本年1月に開催し、ご好評をいただいた“Why India?”に続くインドセミナー第2弾です。

今回は歴史あるインド南部の州都で、現在はIT産業の中心地として日本との関係も深いバンガロールより、古典舞踊「バタネティヤム」のパフォーマーとして30年以上のキャリアを持ち、ビジネスパーソンとしてもご活躍中のアンジャナ・セシャギリ氏をお招きし、ご公演いただくこととなりました。

メディアで観ることはあっても、実際のパフォーマンスに接することが少ないインド舞踊。ぜひこの機会にインド文化に触れてみませんか？

● 演者

バタネティヤム 舞踊家
バンガロール印日商工会議所(IJCCI)マネージャー

Anjana Seshagiri アンジャナ・セシャギリ



▲バンガロールの風景

● 参加費

1,000円（税込） ※当日受付にて現金で承ります。

● 申込方法

インターネット申し込み

URL: <https://www.kandagaigo.ac.jp/kgcc/form/seminar2.php>

※申込締切日：10月8日（火）

※定員：50名 先着順／定員になり次第締め切らせていただきます。



お申込みQRコード

● 開催場所

神田外語学院 本館7階 講堂

東京都千代田区内神田2-13-13 JR 神田駅西口から徒歩4分

詳細は裏面に

18:30	開場・受付開始
19:00-20:15	公 演 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解説 ・ バタネティヤム 舞踊パフォーマンス ・ Q&A
20:15-20:45	レセプション <ul style="list-style-type: none"> ・ 演者との歓談 <p>※会場内にて演者とのご歓談をお楽しみください。 お飲み物等をご用意いたします。</p>

演者のご紹介



● Anjana Seshagiri アンジャナ・セシャギリ

10歳でバタネティヤム舞踊を始めて以来、高名なナルマダ師をはじめ複数の有力な指導者の薫陶を受ける。

現在は、バンガロールで“Nartana Keertana Performing Arts”のサウンドヤ・スリヴァーザ師の指導の下で研鑽を重ねながら、インド国内や日本で精力的にパフォーマンスを行っている。

2017年のソロ公演“Maatru Chaaya(母に捧げる歌)”でのパフォーマンスは多くの指導者から絶賛された。

舞踊家として活動する一方、バンガロールにて印日商工会議所(IJCCI)の渉外担当マネージャーとしても活躍中。

インド古典舞踊「バタネティヤム」とは

バタネティヤム(Bharatanatyam)は今から数千年前に南インドのタミル・ナドゥ州で発祥した“神に捧げる舞踊”で、インド四大古典舞踊の中でも最古の歴史を持つ。当初は寺院の中でのみ踊られ、踊り手である巫女によって伝承されてきたが、19世紀の初め頃舞台芸術として現在の形に整えられた。

バタネティヤムの特徴は、「感情」「メロディー」「リズム」の3つの要素が一体となった豊かな表現により神秘的な世界を作り上げる点にある。その動きは非常に俊敏で、動作は複雑である。

踊りの形には「ヌリッタ(体全体を使う表現)」と「ヌリティア(感情表現)」という2つの要素があり、それらを絶妙に組み合わせることにより、体や腕、指先、顔や目の動きで感情や物事を生き生きと表現する。

